SPIRIT FITNESS
A Heritage of Quality | The Spirit of Innovation

CU800 アップライトバイク
取扱説明書

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください

目次

安全に関する重要事項 2
製品の使用に関する注意事項 3
組立部品チェックリスト 4
組立説明 6
製品の特徴 10
操作方法 11
メンテナンス 24
分解図 25
パーツリスト 26
保証書 28

本製品をお買い上げいただきたいへんありがとうございます。 本取扱説明書は必ず安全なところに保存してください。

本取扱説明書に記載の無い改造や、 調整、 修理、 メンテナンスを絶対におこなわないでください。

CU800-130806-01DJ

安全に関する重要事項

警告 – 本製品を組立、 使用、 メンテナンスする前に、 本書を良くお読みください。

■ エクササイズを行う前に医師にご相談下さい。 特に 35 歳以上または既存の健康障害がある方に関しては注意が必要です。

■ 運動中に吐き気、 めまいなどの異常な症状が発生した場合は、 直ちにトレーニングを中止し、 医師に相談してください。

■ 筋肉の痛みや過負荷を防止するために、トレーニングの際は、 ウォーミングアップ運動から開始し、クールダウン運動で終了して下さい（低い抵抗でゆっくりペダリング）。トレーニングの最後にストレッチを忘れずにおこなってください。

■ 本機器には怪我をさせる可能性があるエリアとポイントがいつくかありますので、 子供を近づけないで下さい。

■ 可動部に手を近づけないでください。

■ 開口部に異物を落としたり挿入したりしないでください。

■ 屋外で使用しないでください。

■ 本機器の使用目的以外での使用はご遠慮下さい。

■ ハンドパルスセンサーは医療機器ではありません。 ユーザーの動きなどを含む様々な要因が心拍数測定の精度に影響を及ぼすため、 ハンドパルスセンサーの目的は、 運動の補助として、 全体の心拍数の変動傾向を把握する目安としてください。

■ 警告：心拍数監視システムが正確に動作しない場合があります。 過度のトレーニングは重篤な身体への障害または死亡を起こす可能性があります。 めまいなどを感じたら直ちに運動を停止して下さい。

■ 本機器をご使用の際は、 ハイヒールや、ドレスシューズ、 サンダルの着用または素足を避け、適切な靴をご着用下さい。また、足の疲労を避けるために、高品質の運動靴の使用をお薦めします。

■ 本機器は、 製品の使用に関する監督または指導がない場合、 子供を含め身体的、 感覚的、 精神的能力の低下した人、 または経験や知識のない人による使用を対象としておりません。

■ 子供が本機器で遊ばないように指導・監督して下さい。

■ ユーザー体重上限は 150 kg です。

本取扱説明書を保存してください

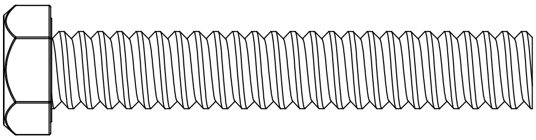
常に安全を心がけてください！

製品の使用に関する注意事項

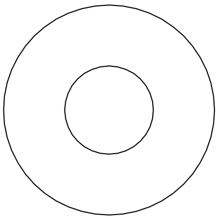
- 本取扱説明書を良く読み、コンピュータの設定を変更することによる機器の動作変更について、完全に理解したうえで、本製品の操作を行って下さい。
- コントロールパネルのボタンに過度の力を加えないで下さい。指で少し押すだけで反応するように設定をしてあります。強く押しても、反応は速くも遅くもなることはありません。ボタンが普通の力で反応しない場合、販売店までお問い合わせください。
- 本書に記載されていないサービスや調整は、ユーザー個人で行わず、電気機械機器に精通している、訓練を受けたサービス担当者に委ねて下さい。
- バイクを乗り降りする際、常にハンドバーをご利用ください。
- バイクと他の固定物との間は、1 メートル以上の隙間を確保して下さい。
- 毎回使用する前に、すべての部品を点検して磨耗や目に見える損傷がない場合のみ、バイクの安全性を保証します。破損の部品がある場合は、バイクの使用を控え、直ちに破損部品を交換し、修理が完了するまでバイクを使用しないで下さい。
- 本製品を雨や湿気に晒さないで下さい。本製品は屋外、プールやスパの近く、その他高湿度環境での使用を対象外としています。使用環境の温度は +10 から +40C で、湿度 95% 以下でかつ水が表面に結露しないことが条件となります。
- けがの原因になりますので、シート調整に関する最小及び最大値をお守りください。
- バイクを水平で硬い床面に設置して下さい。また、床面の損傷を防ぐために、バイクの下に保護シートなどをおいて下さい。
- コントロールパネルのワット数が正しく表示されていない場合、お近くの販売代理店にご相談下さい。
- このバイクによる運動量は、スピードに依存します。

組立部品チェックリスト

ステップ1

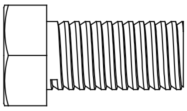


#50 – 3/8” x 2-1/4”
六角ボルト（4 個）

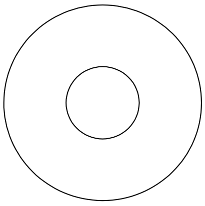


#71 – 3/8˝ x 25
平ワッシャー（4 個）

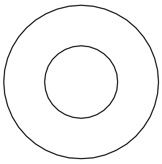
ステップ 2



#51 – 5/16” x 5/8”
六角ボルト（7 個）

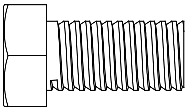


#99 – 5/16˝ x 19
波型ワッシャー（1 個）

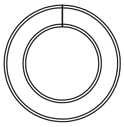


#72 – 5/16˝ x 18
平ワッシャー（6 個）

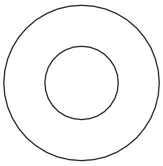
ステップ 3



#51 – 5/16” x 5/8”
六角ボルト（2 個）

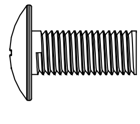


#103 – 5/16”
スプリングワッシャー（2 個）



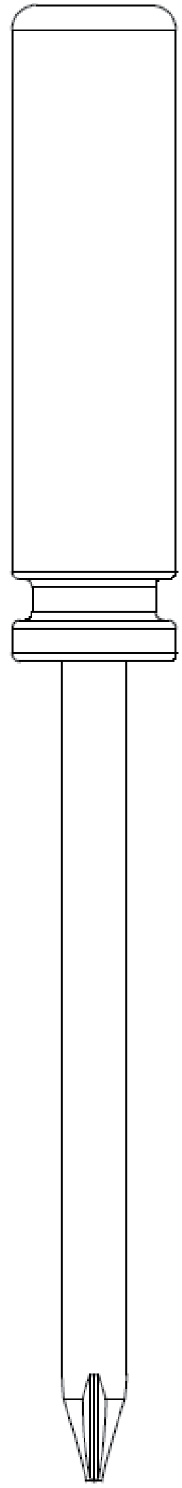
#72 – 35/16˝ x 18
平ワッシャー（2 個）

ステップ 4

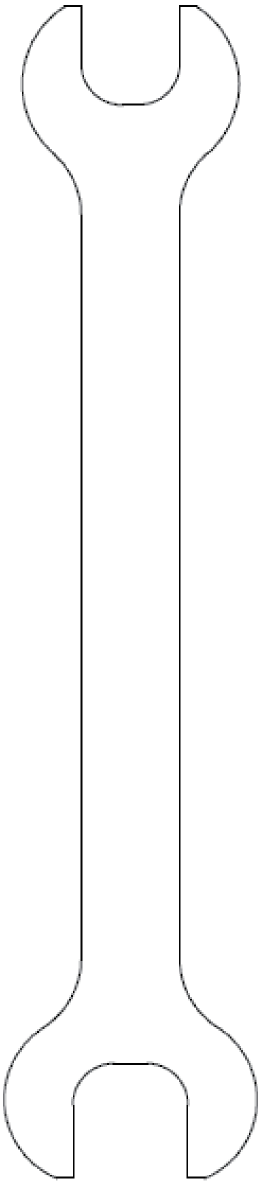


#58 – M5 x 12mm
プラスネジ（10 個）

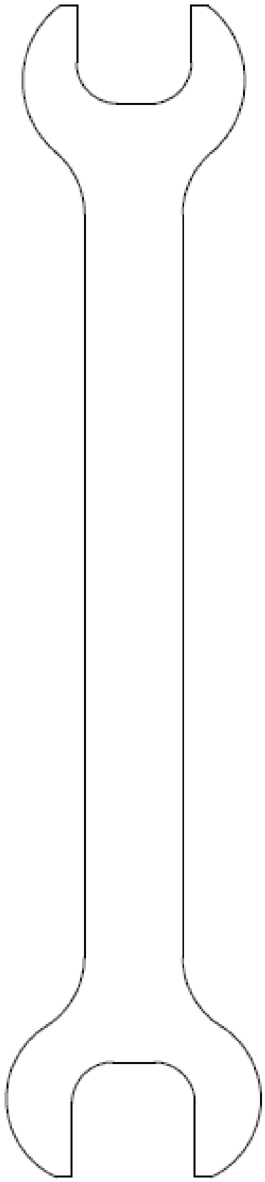
工具



#93 - プラスドライバー
（1 個）



#100 - 12/14mm スパナ
（1 個）

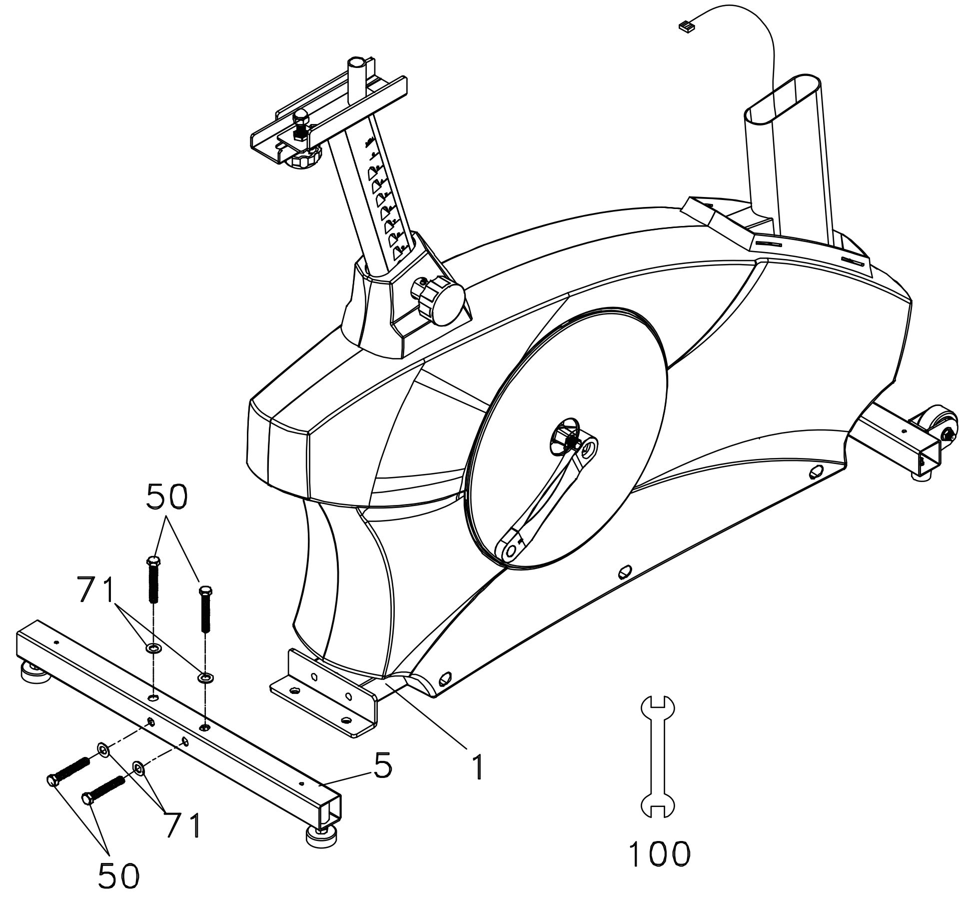


#117 - 13/15mm スパナ
（1 個）

組立説明

ステップ 1: リヤスタビライザーの組立

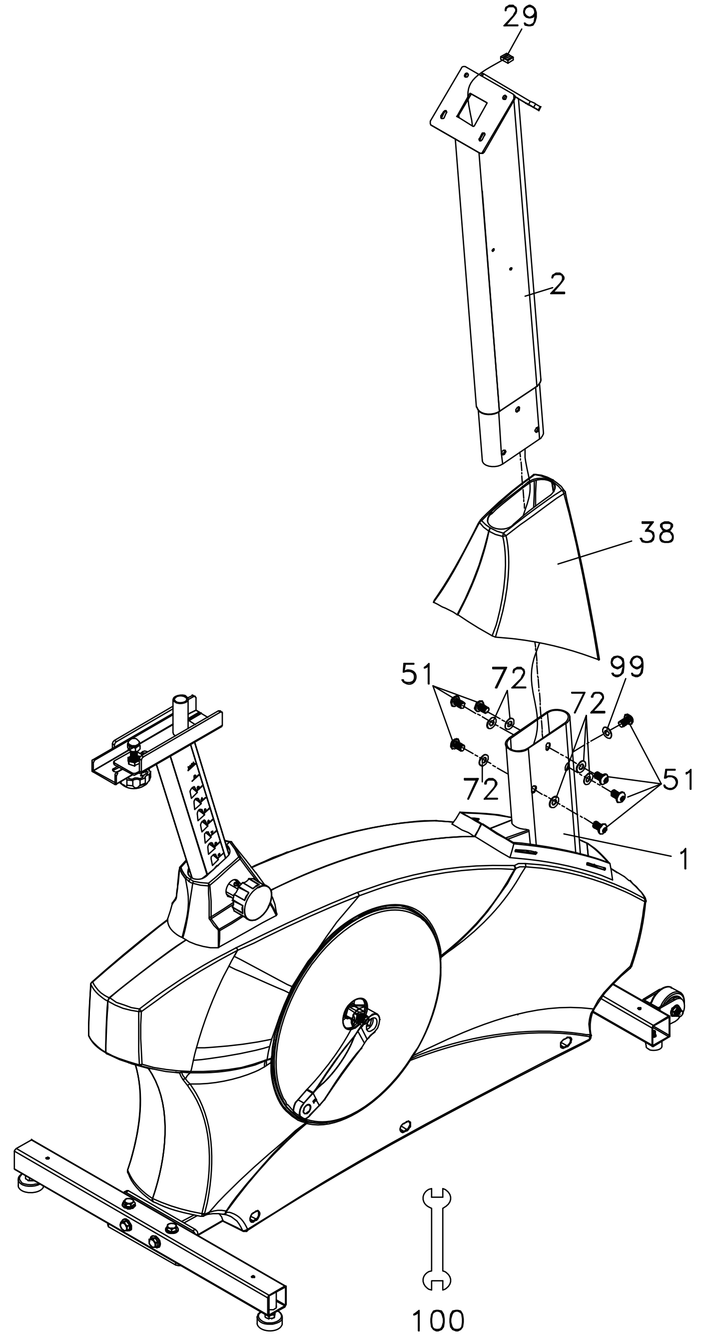
1. 4 本の 3/8” x 2-1/4” 六角ボルト(50)と 4 本の 3/8” x 25 平ワッシャー (71) を使って、リヤスタビライザー (5) をメインフレーム (1) に取り付けます。



ステップ 2: シ前部コントロールパネル支柱

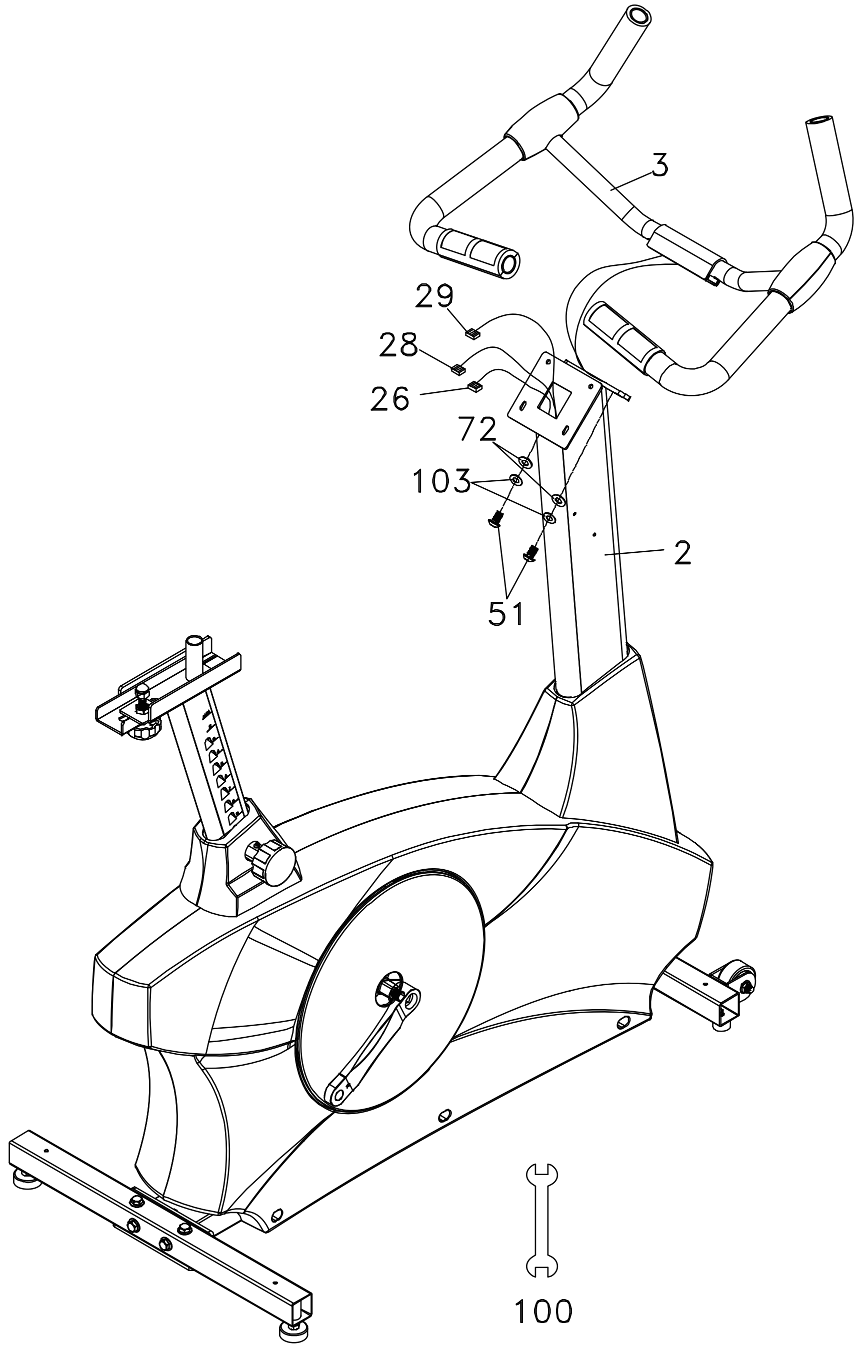
1. コンピュータケーブル (29) を解き、 ケーブルをコントロールパネル・支柱カバー (38) と コントロールパネル支柱 (2) の中を通して、 コネクタを支柱の開口部から出します。 プラスチック カバー (38) を正しい方向に向けて支柱の上にスライドします。

2. 7 本の 5/16” x 5/8” 六角ボルト (51)、 6 本の 5/16” x 18 平ワッシャー (72) (両側ネジ用) 及び 1 本の 5/16” x 19 波型ワッシャー (99) (前部ネジ用) を使って、 コントロールパネル 支柱 (2) をメインフレーム (1) に取り付けます。



ステップ 3: ハンドルバー

1.　2 本のハンドパルス用ケーブル (26) をハンドルバー取付け板 の穴から通して、 コントロールパネルプレートの穴から出します。2 本の 5/16” x 5/8” 六角ボルト(51)、2 本の 5/16” x 18 平ワッシャー (72) と 2 本の 5/16” 割りワッシャー (103) を使って、 ケーブルを挟まないように注意しながら、 ハンドルバー (3) をコントロールパネル支柱 (2) に取り付けます。



ステップ 4: コントロールパネル、シート、ペダルおよびビューティカバー

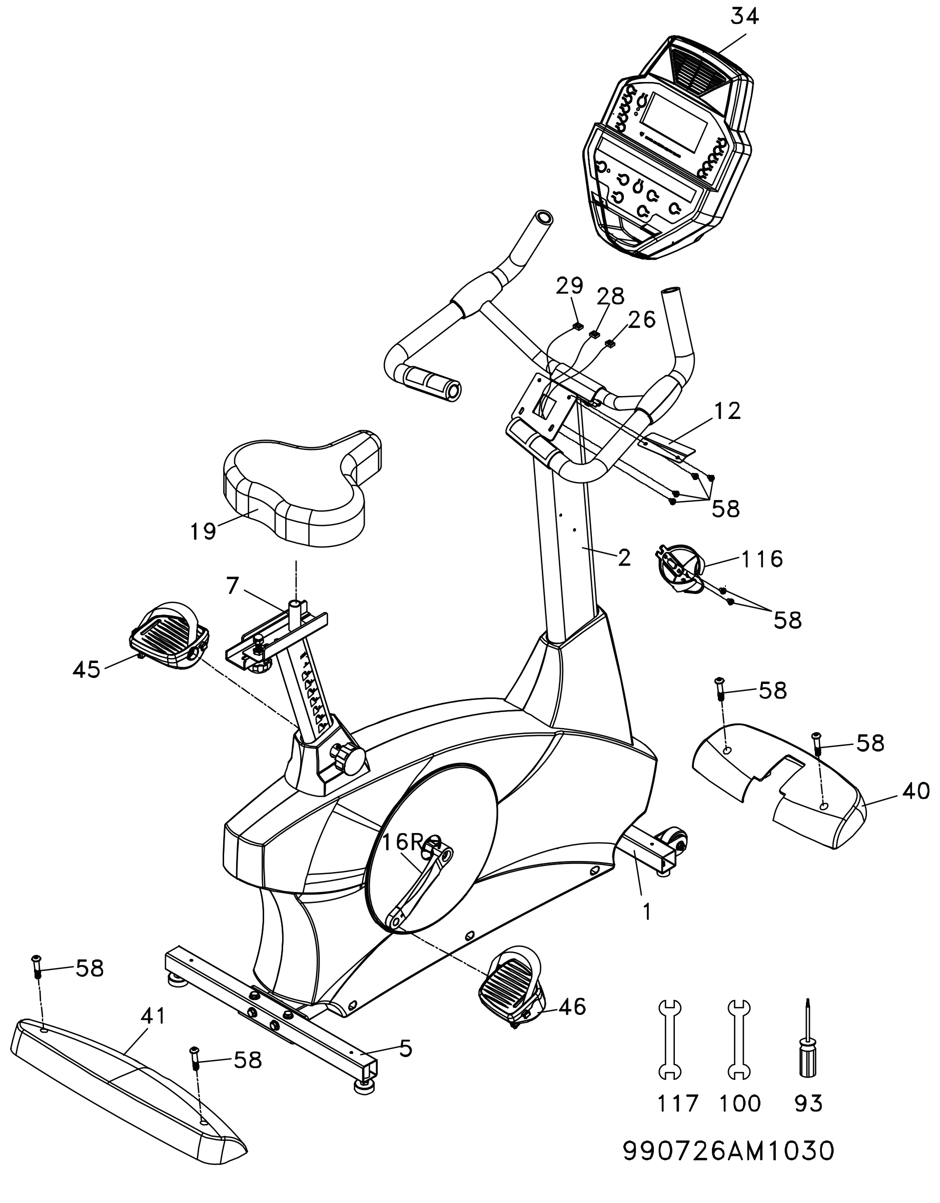
1. コンピュータ用ケーブル (29) と 2 本のハンドパルスケーブル (26) をコントロールパネル (34) の背面にあるコネクタに挿入します。 4 本の M5x12mm プラスネジ (58) を使って、 コントロールパネル (34) を支柱 (2) に取り付けます。

2. 4 本の M5x12mm プラスネジ (58) を使って、 フロントスタビライザーカバー (40) とリアスタビライザーカバー (41) をメインフレーム (1) に取り付けます。

3. ペダル (45 L, 46R) をクランクアーム (16L, 16R) に取り付けます。 左ペダルには逆向きのスレッドが付いており、 通常のスレッドと逆の回転でクランクにねじりこむことになります。 左ペダルのつまみネジ軸の端に「L」という刻印があり、 右には「R」がマークされています。 ペダルを出来るだけきつく締めて下さい。 ペダリングしている際大きな音がした場合、 ペダルを締め直すことが必要です。 ペダリング中のクリック、ドシンなどの異音はペダルの緩すぎによるものです。

4. シートポストを前向きに、 シート取付けスライド (7) をシートチューブの上部にあるトラックに取り付けます。 シート (19) をシートポストに取り付けます。

5. 2 本の M5x12mm プラスネジ (58) を使って、ドリンクボトルホルダ (116) をコントロールパネル支柱 (2) に取り付けます。



製品の特徴

フットペダル

スポーツ科学者やリハビリ専門家による研究がペダルの設計に大きな躍進をもたらしています。 通常、定置式エアロバイクはロードバイクよりも幅が広くなっており、 これはブレーキ機構や、 滑車、 駆動部品およびビューティカバーなどを考慮した結果です。 バイクの幅が広ければ、 ペダルの間の距離も広くなります。 このペダルの間の距離を Q ファクタと言います。

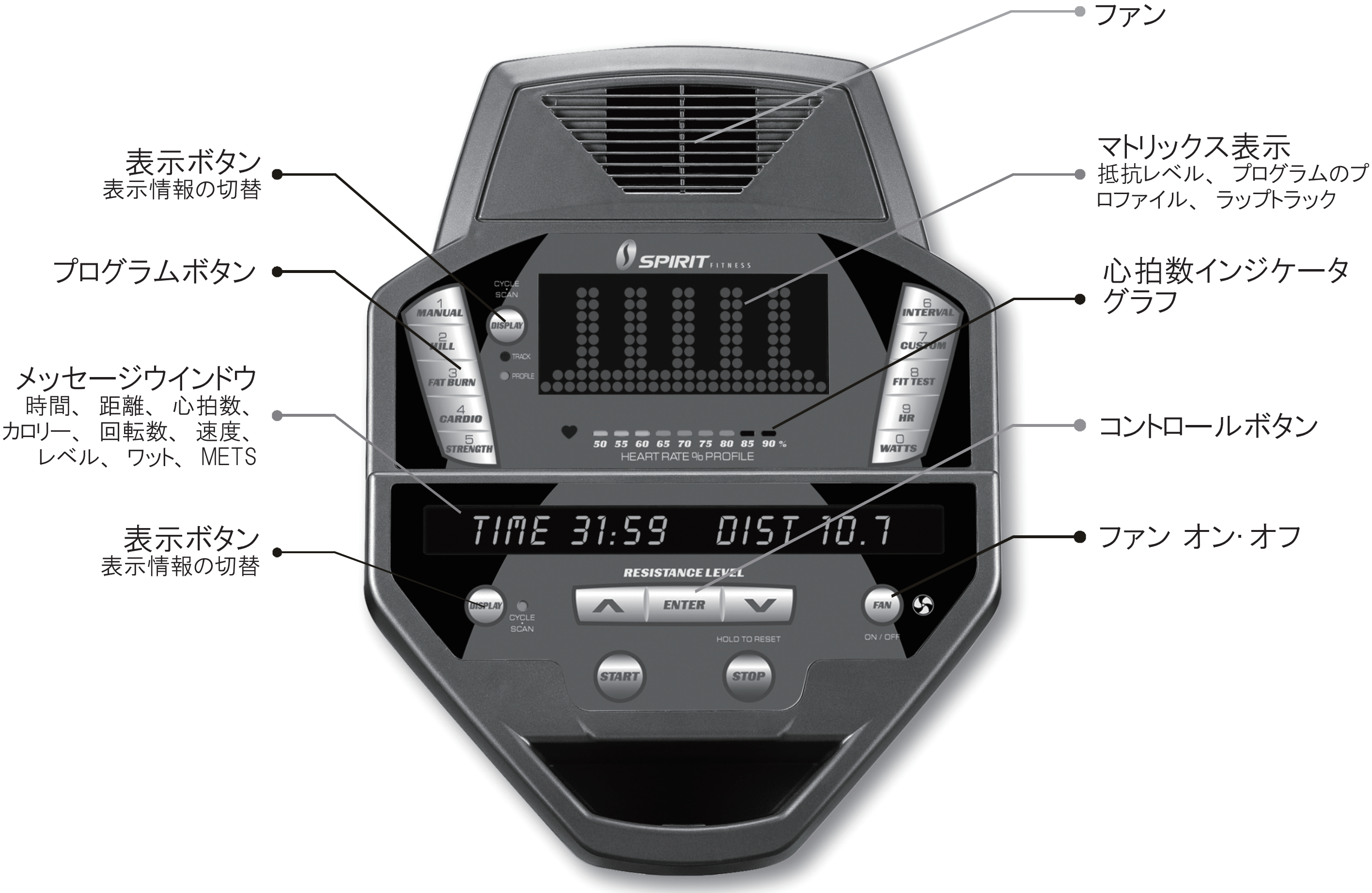
本製品の Q ファクタは業界最小値に設計されています。 それだけでは有りません。 完璧でない Q ファクタを補うために、 カスタム設計によりペダルのデザインを内側に 2 度ほどの傾斜を付けました。 小さめの Q ファクタおよびこの 2 度の内側への傾斜により、 ユーザーは生体力学的にニュートラルな状態で運動することができます。 つまり、 ユーザーの足や足首、 膝および腰が適切なラインに沿って快適にトレーニングを行う事ができます。

移動

バイクに 2 つの移動用ホイールが付いており、 バイクの後部が持ち上げられた際に動作するようになっています。

アップライトバイクの操作方法

コントロールパネル



パワーオン

本アップライトバイクは発電機を内蔵しているため、 コンセントに接続する必要はありません。 ペダルを動かすことでコントロールパネルは自動的にオンになります。 ペダルを踏んでもコントロールパネルがオンにならない場合、 電源スイッチが 0（発電機）の位置にあるかを確認して下さい。 電源スイッチは、 メインプラスチックカバーの前面下の左側にあります。 別売りで 24VAC の変圧器を使用することもできます。 お買い上げの販売店にお問い合わせください。 この変圧器は、 バイクが非常に低いスピードで動作する際に、 コントロールパネルの表示を維持させるパワーが不足している場合に使います。 AC 電源変圧器を使用する場合、 変圧器をコンセントとバイクの電源入力モジュールに接続し、 電源スイッチを 1 (24VAC 入力) にします。

最初に電源をオンにすると、 コントロールパネルはセルフテストを実行し、 すべてのランプが短時間に点灯します。 ランプがオフになると、ドットマトリックスの画面にソフトウェアのバージョン情報（例：VER 1.0）が表示され、 メッセージ画面にオドメーターの測定値が表示されます。 オドメーターはバイクの使用時間と距離を測定し、 例えば「ODO 123 MI 123 HRS」のように表示します。

オドメーターが数秒間だけ表示された後に、 コントロールパネルがスタートアップ画面に移ります。ドットマトリックスの画面に様々なプロファイルが表示され、 メッセージ画面にスタートアップのメッセージが表示されます。 これで、 コントロールパネルは準備完了で、 使用することができます。
。

コントロールパネルの操作

クイックスタート

トレーニングを開始するのに最も簡単な方法です。 コントロールパネルがオンになった後に、 スタートボタンを押してクイックスタートモードでトレーニングを開始します。 この場合、 時間と他のデータがゼロからカウントされ、 運動強度は上下の矢印ボタンで調整することができます。 マトリックス表示画面は、 初期設定（下記の「基本情報」にご参照ください）に応じて、 1/4 マイル（0.4KM）のトラックもしくは一番下の行だけを表示します。 運動強度を増やすと、 より多くの行のドットが点灯し、 ペダルも重くなります。 マトリックス表示に 24 列のドットが表示され、1 列が 1 分間を意味します。 24 列目（24 分のトレーニング）の終了時に、 表示が一巡して最初の列から再開します。

抵抗は 40 レベル（10 行のライトで表示）から選ぶことができます。 最初の 10 レベルは運動強度が低く、レベル間の変化も健康状態が優れていないユーザー用にスムーズな設定となっています。レベル 10 から 20 は、 運動強度がより高くなりますが、レベル間の変化は最初の 10 レベルと同様、 小さい設定となっています。レベル 20 から 30 は、 より劇的なレベル変化があり、 レベル 30 から 40 は短い間隔のピークやアスリート向けのトレーニングに適しています。

基本情報

マトリックス表示またはプロファイルウィンドには 2 つの表示モードがあります。 あるプログラムを開始すると、マトリックス表示に運動プロファイルが表示されます。 マトリックス表示の左側に「表示」とマークされているボタンがあり、 このボタンを一回押すと、 表示画面をプロファイルから 1/4 マイルのトラック表示に切り替えることができます。 もう一回押すと、トラックとプロファイルを数秒ずつ表示する事になり、更に押すと、プロファイル画面に戻ります。

メッセージウインドウには時間と距離が表示されます。 メッセージウインドウの左下に「表示」とマークされているボタンがあり、 このボタンを押すたびに、 4 セットの情報（時間と距離、 パルスとカロリー、 RPM 及び KPH で表示されるスピード、 運動レベルと MET）が順番に表示される事になります。 MET 表示の際に、 表示ボタンを押すと、 スキャンランプが点灯し、 メッセージウインドウに各セットのデータが 4 秒ずつ繰り返して表示されます。 表示ボタンをもう一回押すと、 最初の状態に戻ります。

マトリックス表示画面の下にハートのアイコンとインジケータグラフがあります。 バイクに心拍モニターが内蔵されているため、 ハンドパルスセンサを握るか、 心拍測定トランスミッターを着用することで、 ハートのアイコンが点滅（数秒かかることがあります）します。 メッセージウインドウにユーザーの心拍数（パルス）は分当たりのビート数で表示されます。 インジケータグラフは、 現在の心拍数がユーザーの最大心拍数に対するパーセンテージを表示します。 注：プログラムをセットアップする際にユーザー年齢を入れることで、 インジケータグラフが正しく表示されます。 詳しくは「心拍数」セクションをご参照ください。

ストップ／リセットボタンはいくつかの機能を持っています。 プログラムの進行中にこのボタンを押すと、 プログラムを 5 分間一時停止（ペダリングが止まると、 画面がオフになりますが、「一時停止モード」と同様、 データは 5 分間保存されます）させることができます。 この機能で、 運動中にドリンクを取りに行ったり、 電話に出たり、 運動を一時停止することができます。 再開するには、 スタートボタンを押すか、ペダルを踏み始めて下さい。 プログラムの進行中にストップ／リセットを 2 回連続で押すと、 プログラムは終了し、 コントロールパネルがスタート画面に戻ります。 ストップ／リセットを 3 秒間押し続けることで、 コントロールパネルを完全リセットすることができます。プログラムのデータ入力をしている時にストップ／リセットを押すことで、 一つ前の画面に戻ることができます。

プログラムボタンで各プログラムをプレビューすること可能です。 コントロールパネルをオンにした後に、 各プログラムのボタンを押してそれぞれの内容を確認し、 決定したら該当プログラムのボタンとエンターボタンを押すと、 データ設定モードに入ります。

データ設定モードで、 これらのプログラムのボタンは数字のキーパットとして機能し、 各ボタンの下に番号が表示されています。 年齢や体重などの新規データを設定する際にこれらのボタンを使って、 より速く入力することが可能です。

コントロールパネルにファンが内蔵されています。 コントロールパネルの前部右側にあるボタンを押してファンをオンにできます。

コントロールパネルのプログラミング

各プログラムはユーザーのニーズに合わせ、 個人データでカスタマイズまたは変更することができます。例えば、 年齢や体重を入れるように求められます。 年齢の入力は心拍数インジケータグラフが正確に表示される事に繋がり、 また「心拍数コントロールプログラム」においてユーザーの年齢に対応したプログラムを設定することができます。 体重の入力はカロリー計算に使用され、 正確な数字を算出することが難しいですが、 出来るだけ近い数値を表示しています。

設定の入力 / 変更

プログラムを選択したら（プログラムのボタンとエンターボタンを押します）、 個人データを入力することができます。 設定の変更をせずにトレーニングを開始する場合は、 そのままスタートボタンを押します。 設定を変更する場合は、 メッセージウインドウの指示に従って下さい。 設定を変更せずにプログラムを開始する場合は、 デフォルトまたは事前に保存されたデータを使用する事になります。

マニュアル

マニュアルプログラムの場合は、 コンピュータではなくユーザーが手動で運動量などをコントロールします。マニュアルプログラムを開始するには、 下記のステップまたは、 マニュアルボタン及びエンターボタンを押した後にメッセージウインドウの指示に従って下さい。

1. マニュアルボタンを押して更にエンターを押します。
2. メッセージウインドウに年齢を入れるように求められます。 上下の矢印ボタンまたは数字のキーパッドを使って年齢を入力し、 エンターを押して入力した数字を受付して、 次の画面に進みます。
3. 次は体重を入れます。上下の矢印ボタンまたは数字のキーパッドを使って体重を入力し、エンターを押して次に進みます。
4. 次は時間の設定です。 時間を調整してエンターを押して次に進みます。
5. これで設定が終了しスタートボタンを押してトレーニングを開始することができます。 また、エンターボタンを押すことで戻って設定を変更する事も可能です。
   注：データを編集している時に、 ストップボタンを押して一つ前のレベルまたは画面に戻ることができます。
6. プログラムはレベル1から開始します。 一番やさしいレベルなので、暫くレベル 1 でウォーミングアップすることをお薦めします。 レベルを変更したい場合は、 上矢印でレベルアップ、 または下矢印でレベルダウンすることができます。
7. マニュアルプログラムを利用している時、 メッセージウインドウの隣にある表示ボタンを押すことでメッセージウインドウにデータをスクロールさせることが可能です。 また、 マトリックス表示画面の隣にある表示 ボタンを押すことで、 プロファイル表示と 1/4 マイルのトラック表示と切り替えることができます。
8. プログラムが終了したら、 スタートボタンで同じプログラムを繰り返したり、 ストップボタンで終了したり、 またはカスタムボタンを押して終了したプログラムをカスタムプログラムとして保存することができます。

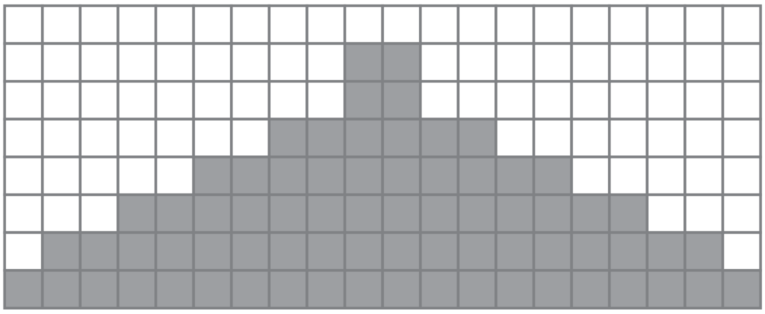
プリセットプログラム

トレーニングの目標に合わせて、 5 つのプリセットプログラムが用意されており、 それぞれ異なるプロファイルがメーカでプリセットされています。 各プログラムの初期レベルはやさしいレベルに設定されており、 プログラムを開始する前に、 メッセージウインドウの指示に従ってレベルの難易度（最大レベル）を調整することができます。

ヒル

ヒルプログラムでは、ヒルを登ったり下りたりすることをシミュレートします。ペダルの抵抗が徐々に増加して、それから減少します。

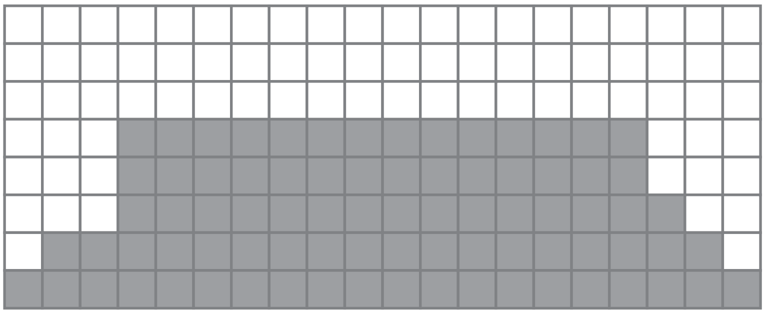
プロファイル



有酸素

有酸素プログラムは、 名前通り最大限に脂肪を燃焼させるように設計されています。 いかに脂肪を燃焼させるかに関する考え方は様々ですが、 多くの専門家は「低い運動レベルで安定した運動量」が最善な方法と認識しています。 つまり、 運動で最大心拍数の 60% から 70% 程度の心拍数を維持することが最も効果的に脂肪を燃焼することができます。 このプログラムでは心拍数を使用せずに、 安定した強度の低い運動をします。

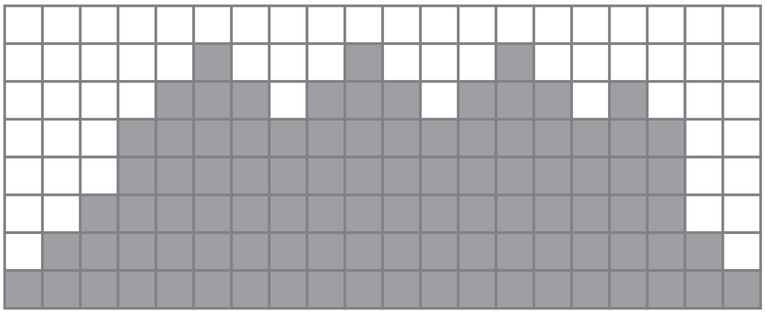
プロファイル



カルディオ

カルディオプログラムはユーザーの心臓血管機能を高めるために設計されており、 心臓や肺のためのプログラムです。 運動強度を変動しながら、 より高い強度の運動で心臓の筋肉を構築し、 血流と肺容量を向上させる効果があります。

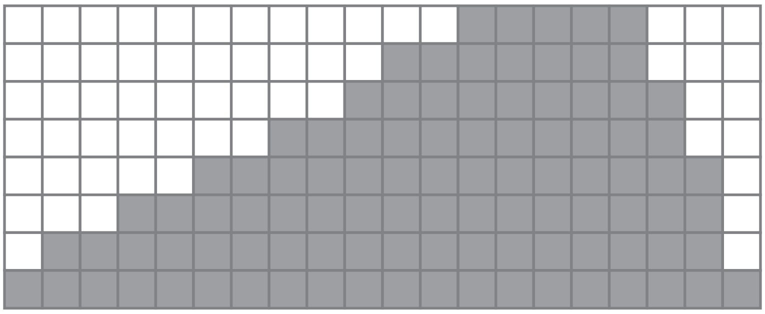
プロファイル



筋力

筋力プログラムは下半身の筋力を高めるために設定されており、 徐々に運動強度を増加して強度の高いレベルで維持することにより、 足と臀部の筋肉を強化します。

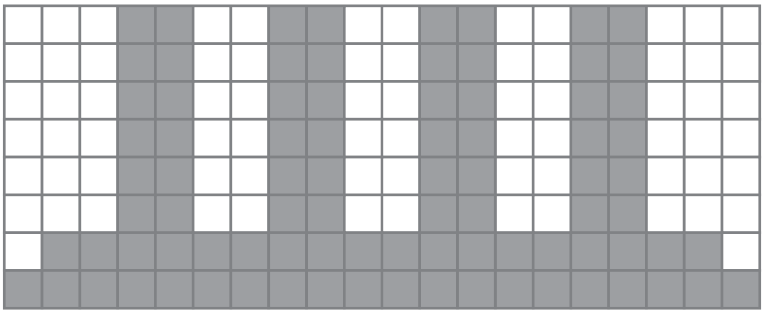
プロファイル



インターバル

インターバルプログラムは高強度と低強度の運動を交代で繰り返すことにより、 ユーザーの酸素レベルを激減させた後に酸素を補給し、 ユーザーの持久力を向上させます。 この方法で、 心臓血管系統がより効率的に酸素を使用することができるようになります。

プロファイル



プリセットプログラムのプログラミング

1. 目的のプログラムのボタンを押して更にエンター ボタンを押します。
2. メッセージウインドウに年齢を入力するように求められます。 上下の矢印ボタン使って年齢を入力し、 エンターを押して新しい数字を受付して、 次の画面に進みます。
3. 次は体重を入れます。上下の矢印ボタンまたは数字のキーパッドを使って体重を入力し、エンターを押して次に進みます。
4. 次は時間の設定です。 時間を調整してエンターを押して次に進みます。
5. Max Level（最大レベル）を入力します。 プログラムの最大運動レベル（ヒルの頂上）を調整して、エンターを押します。
6. これで設定が終了しスタートボタンを押してトレーニングを開始することができます。 また、 ストップボタンを押して一つ前のレベルまたは画面に戻ることができます。
7. プログラム中に運動強度を増減したい場合、 上下矢印ボタンで調整することが可能です。 これによって、 プログラム全体のプロファイルが変更されますが、 ユーザーがプロファイルの全体像を把握するため、 プロファイル画面の模様は変わりません。 運動強度を変更すると、 メッセージウインドウに現在の列とプログラム最大の運動レベルが表示されます。
8. プログラム中に、 メッセージウインドウの隣にある表示ボタンを押すことで、 メッセージウインドウに表示されるデータをスクロールすることができます。
9. プログラムが終了した後に、 メッセージウインドウにトレーニングの要約が短時間に表示され、 それからコントロールパネルがスタートアップ画面に戻ります。

カスタムプログラム

カスタムプログラムを設定し保存することができます。 下記のステップでユーザー個人のカスタムプログラムを設定するか、 行ったプリセットのプログラムをカスタムプログラムとして保存することができます。 施設名でカスタムプログラムを保存する事も可能です。

1. カスタムボタンを押します。 メッセージウインドウにウェルカムメッセージが表示され、 保存済みのプログラムがある場合、 プログラム名も表示されます。 プログラミングを開始するにはエンターボタンを押します。
2. エンターを押すと、 保存済みのプログラムがない場合、 メッセージウインドウに「Name ？ A」と表示されます。「Custom Workout」という名前でカスタムプログラムを保存した場合、 画面に「Name ？ Custom Workout」と表示され、「Custom」の「C」が点滅します。 プログラム名を変更するか、 ストップボタンを押し、 プログラム名をそのまま使用して次のステップに進みます。名前を変更する場合、 上下矢印ボタンで最初の文字を選択し、 エンターで保存した後に次の文字に進みます。 プログラム名を入力したら、 ストップボタンで名前を保存して次のステップに進みます。
3. メッセージウインドウに年齢を入れるように求められますので、 上下矢印ボタンもしくは数字のキーパッドで年齢を設定した後にエンターで数字を受付して、 次の画面に進みます。
4. 次は体重を入力します。 上下の矢印ボタンまたは数字のキーパッドを使って体重を入力し、 エンターを押して次に進みます。
5. 次は時間の設定です。 時間を調整してエンターを押して次に進みます。
6. Max Level（最大レベル）を入力します。 プログラムの最大運動レベルを調整して、 エンターを押します。
7. 1 列目が点滅するので、 第 1 区分のトレーニングの強度レベルを入れます。 強度レベルを調整し終えた後に、 もしくは強度を変更しない場合、 エンターを押して次の区分に進みます。
8. 第 2 区分は前の区分と同じ数値が表示されますので、 上記のステップと同じ手順でレベルを調整します。 この手順を最後の区分まで繰り返します。
9. メッセージウインドウにエンターを押してプログラムを保存するように求められます。 保存した後、画面に「New program saved」のメッセージが表示され、 スタートするもしくはプログラムを変更すると 2 つのオプションを選択できるようになります。 ストップボタンを押すと、 スタート画面に戻ります。

10.　プログラム中に運動強度を増減したい場合、 上下矢印ボタンで調整することが可能です。 この調整はプログラムの現在の区分だけに影響を与え、 次の列が始まると、 プリセットのレベルに戻ります。

11.　User 1 または User 2 のプログラム中に、 メッセージウインドウの隣にある表示ボタンを押すことでメッセージウインドウに表示されるデータをスクロールすることができます。 マトリックス画面の隣にある表示 ボタンを押すことで、 プロファイル表示と 1/4 マイルのトラック表示と切り替えることができます。心拍数モニタリング機能を使用することで、 オートパイロットモードに入ることも可能です。 詳しくは心拍数のセクションをご参照ください。

フィットテスト

フィットテストは YMCA プロトコルをベースにした準最大テストで、 ユーザーの最大心拍数の測定値にも基づいて予めに定められた固定の運動レベルをテストのプロセスとして使用します。 テストはユーザーの健康状態により、 6 分から 15 分間かかります。 テストは、 ユーザーの心拍数がテスト中に最大心拍数の 85% に達した時点、 もしくは最後の 2 つのステージにおいて 110 bpm と 85% の間に達した時点で終了します。 テスト終了時に、 VO2max のスコアが採点されます。 VO2max とは最大酸素摂取量で、 ユーザーがある決まった量の運動量を行うのに、 必要とする酸素量の値です。

YMCA プロトコルは 2 から 4 個の 3 分間のステージの連続運動 (下のグラフを参照) を使ってテストします。テストの前に女性・男性の選択があり、 この選択でテストのパラメータが決まります。 注意点としては、 健康状況が非常に良くない男性の場合「女性」を選択し、 健康状況が非常に良い女性の場合「男性」として選択して下さい。

男性及び非常に健康な女性用運動量チャート

1st Stage				Level 12 50 watts 300 kgm/min					
HR		< 90			90 - 105			> 105	
2nd Stage		Level 29 150 watts 900 kgm/min			Level 26 125 watts 750 kgm/min			Level 23 105 watts 500 kgm/min	
HR	HR <120	HR 120-135	HR >135	HR <120	HR 120-135	HR >135	HR <120	HR 120-135	HR >135
3rd stage	Level 36 225 watts 1350 kgm/min	Level 34 200 watts 1200 kgm/min	Level 32 175 watts 1050 kgm/min	Level 34 200 watts 1200 kgm/min	Level 32 175 watts 1050 kgm/min	Level 29 150 watts 500 kgm/min	Level 32 175 watts 1050 kgm/min	Level 29 150 watts 500 kgm/min	Level 26 175 watts 750 kgm/min

HR＝心拍数　watts＝ワット　Level＝レベル　1st 2nd 3rd Stage＝第1、 第2、 第3ステージ

女性及び健康状態が良くない男性用運動量チャート

1st Stage			Level 5 (25W) 150 kgm/min	
Heart Rate	HR<80	HR 80-90	HR 90-100	HR>100
2nd Stage	Level 26 (125W) 750 kgm/min	Level 23 (100W) 600 kgm/min	Level 18 (75W) 450 kgm/min	Level 12 (50W) 300 kgm/min
3rd Stage	Level 29 (150W) 900 kgm/min	Level 26 (125W) 750 kgm/min	Level 23 (100W) 600 kgm/min	Level 18 (75W) 450 kgm/min
4th Stage	Level 32 (175W) 1050 kgm/min	Level 29 (150W) 900 kgm/min	Level 25 (117W) 700 kgm/min	Level 23 (100W) 600 kgm/min

Heart Rate/HR＝心拍数　W＝ワット　Level＝レベル　1st 2nd 3rd 4th Stage＝第1、第2、第3、第4ステージ

フィットテストのプログラミング

1. フィットテストボタンとエンターを押します。
2. メッセージウインドウに年齢を入力するように求められるので、上下矢印ボタンで年齢を設定した上で、エンターを押して数字を受付して次の画面に進みます。
3. 次は体重を入力します。 上下矢印ボタンで体重を設定した上で、 エンターを押します。
4. 最後はスタートを押してテストを開始します。

テストの前に

- 健康であることを確認して下さい。 35 歳以上または既存の健康障害がある方は、 エクササイズを行う前に医師にご相談下さい。
- シートの高さを調整します（ペダリング中に、 足が伸ばした際に膝が 5 度ほど曲げるように、 高さ調整して下さい)。
- テストを受ける前に、 ウォームアップとストレッチ運動を行って下さい。
- テストの前はカフェインの摂取をお控えください。
- 緊張せずにハンドルを軽く握って下さい。

テスト中

- テストを開始させるために、 コントロールパネルが安定した心拍数の受信をする必要があります。ハンドパルスセンサー、 もしくは心拍測定送信装置を使用して下さい。
- ペダルのスピードを 50 RPMに維持させる必要があります。 スピードが48 RPM 以下もしくは 52 RPM 以上になった場合、ビープ音が鳴るので、 スピードを範囲内に調整して下さい。
- メッセージウインドウの下にある表示ボタンを押すことで、 画面に様々なデータをスクロールして表示させることができます。

1. メッセージウインドウの右側に常にペダルのスピードが表示されるので、 この数値が 50RPM になるようにペダリングして下さい。
2. テスト中に下記のデータが表示されます。

a. KGM 表示の運動量：kg-m/min の省略で、 重量キログラム・メートル / 分の測定値です。
b. ワット表示の運動量（1 ワットは 6.11829727787 kg-m/min）
c. 心拍数：実際の心拍数。 TGT：テストを終了させるために達成しなければならない「目標心拍数」
d. Time：テストの合計経過時間。

テストの後

- 1 ～ 3 分のクールダウン運動を行って下さい。
- コントロールパネルは数分後に、 自動的にスタートアップモードに戻るので、 テストスコアをお控えください。

スコアの意味

男性及び非常に健康な女性用 VO_{2max} 表

Age	18-25	26-35	36-45	46-55	56-65	65+
Excellent	>60	>56	>51	>45	>41	>37
Good	52-60	49-56	43-51	39-45	36-41	33-37
Above average	47-51	43-48	39-42	35-38	32-35	29-32
Average	42-46	40-42	35-38	32-35	30-31	26-28
Below average	37-41	35-39	31-34	29-31	26-29	22-25
Poor	30-36	30-34	26-30	25-28	22-25	20-21
Very poor	<30	<30	<26	<25	<22	<20

Age = 年齢；Excellent ＝ 優秀；Good ＝ 優れている；Above average ＝ 標準より優れている；Average ＝ 標準；Below average ＝ 標準より劣る；Poor ＝ 劣っている；Very poor ＝ 非常に劣っている

女性及び健康状態が良くない男性用 VO_{2max} 表

Age	18-25	26-35	36-45	46-55	56-65	65+
Excellent	>56	>52	>45	>40	>37	>32
Good	47-56	45-52	38-45	34-40	32-37	28-32
Above average	42-46	39-44	34-37	31-33	28-31	25-27
Average	38-41	35-38	31-33	28-30	25-27	22-24
Below average	33-37	31-34	27-30	25-27	22-24	19-22
Poor	28-32	26-30	22-26	20-24	18-21	17-18
Very poor	<28	<26	<22	<20	<18	<17

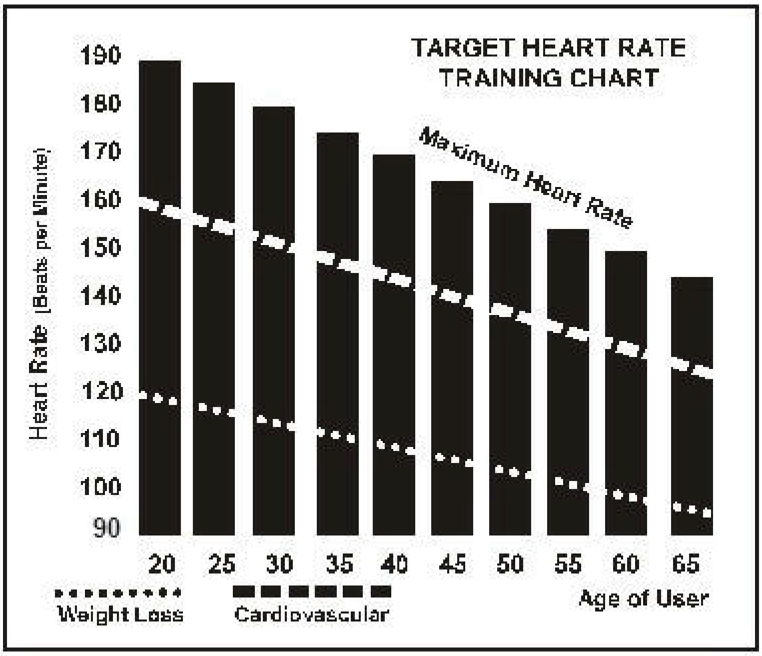
Age = 年齢；Excellent ＝ 優秀；Good ＝ 優れている；Above average ＝ 標準より優れている；Average ＝ 標準；Below average ＝ 標準より劣る；Poor ＝ 劣っている；Very poor ＝ 非常に劣っている

心拍トレーニング

心拍数について

「苦労なくして得るものなし」という古い考えは、 今の快適な運動による得られるメリットに圧倒されてしまいます。 心拍数モニターの使用がこの成功に大きな役割を果たしています。 心拍数モニターを適切に使用することで、 心拍数を希望の範囲内に維持させることができ、 今まで自身の意識で選択してきたエクササイズが強すぎか弱すぎのどちらかにしか感じられなかった人も、 運動することを楽しく感じるはずです。

トレーニングの最適心拍数を決めるためには、まず自身の最大心拍数（運動の際に、 超えてはいけない心拍数）を知る必要があります。この数値は次に式で算出することができます：220 から年齢を引きます。 これで、 ある年齢の人の最大心拍数 (MHR) を算出することができます。 特定の目標を達成するための効果的な心拍数はこの MHR の割合で計算します。トレーニングゾーンは MHR の 50% から 90% の範囲内で、60% は有酸素ゾーンで、 60 から 80% は最も成果を挙げることができるゾーンです。



例えば、 40 歳の人の目標心拍数ゾーンは下記のように計算されます。

220 −40 = 180（最大心拍数）
180 × 0.6 = 108 ビート / 分（最大の 60% ）
180 × 0.8 = 144 ビート / 分（最大の 80% ）

したがって年齢が 40 歳のユーザーのトレーニングゾーンは 108 から 144 ビート / 分となります。

プログラムに年齢を入力すると、 コンピュータは自動的にこの計算を行います。 入力した年齢は心拍数コントロールプログラムに使用されます。 最大心拍数を決定した後に、 目標を決めましょう。

最も人気の有る目標は、 心臓血管の健康促進（心臓や肺のためのトレーニング）と体重コントロールです。上記の図の黒い棒線は、 特定の年齢（横軸）の人の最大心拍数（縦軸）を表します。 心臓血管の健康促進とダイエットに適したトレーニングゾーンは、 グラフを斜めにカットする 2 本の点線で表示されています。それぞれの点線が示す目標は、 グラフの左下に記載されています。 心血管の健康促進とダイエットの目標は、 それぞれ最大心拍数の 80% と 60% でかつ、 医師に承認されたスケジュールのトレーニングで達成することができます。 プログラムを始める前に、 医師にご相談下さい。

心拍数コントロール機能付きのバイクを使用する場合、 どのプログラムに対しても心拍数コントロール機能が有効なので、「心拍数コントロールプログラム」を使用しなくても、 目標のトレーニングができます。 心拍数コントロールプログラムの場合は、 ペダルの抵抗を自動的に調整します。

警告： 心拍数監視システムが正確に動作しない場合があります。 過度のトレーニングは重篤な障害または死亡を起こす可能性があります。 めまいなどを感じたら直ちに運動を停止して下さい。

主観的運動強度

心拍数も重要ですが、 自分の身体に耳を傾けることも多くのメリットをもたらします。 心拍数以外にも、ストレスのレベル、 身体の健康状況、 精神的な健康状況、 温度、 湿度、 時間帯、 最後に食べた時間、 なにを食べたかなど、 運動強度を決める際に考えなければならない可変要素が多数あります。 身体に耳を傾けることで、 これらの情報を全部教えてくれるはずです。

「Borg スケール」としても知られている主観的運動強度（RPE）は、 スウェーデンの生理学者 G.A.V. Borg により開発され、 運動者が主観的に感じる運動強度を 6 から 20 までのスケールで評価する指数です。

そのスケールは次のようになっています。

主観的運動強度

6 最小努力（努力なし）
7 きわめて軽い
8 きわめて軽い +
9 非常に軽い
10　非常に軽い +
11 軽い
12 楽である
13 何となくキツイ
14　何となくキツイ +
15 キツイ
16 キツイ +
17 かなりキツイ
18 かなりキツイ
19 きわめてキツイ
20 最大努力

上記のスケールの数字の後ろに「0」を足すことで、そのスケールの大よその心拍数レベルがわかります。例えば、 スケール 12 の場合の心拍数は分あたり 120 ビートになります。 RPE の値は前述の要素によって異なります。 運動者の身体が健康で十分に休まった場合、 力強くペースもゆったりと感じて、 より難度の高いトレーニングを行う事ができ、 RPE もこれをサポートします。 疲れていて身体が不調な場合、身体が休憩を必要とうするので、 ペースをより難しく感じるはずです。 この状態も RPE でわかるので、 その日のトレーニングは適切なレベルに設定する必要があります。

チェストベルトトランスミッターの使用に関して

ワイアレストランスミッター（発信器）の装着方法

1. ロック用部品を使って、トランスミッターをストラップに取り付けます。
2. ストラップを身体が快適と感じられる範囲で、 できるだけきつく締めます。
3. トランスミッターを身体のセンターラインに、 ロゴが付いている側を外向けに位置調整します（人によっては、 身体のセンターラインより少し左側に置く必要があります）。 ストラップの丸くなっている側を挿入して、 ストラップの最終取付けを行い、 更にロック用部品を使って、トランスミッターとストラップを胸に固定させます。
4. トランスミッターが胸筋のすぐ下になるように位置調整します。
5. 汗は心拍電気信号を測定するための最良の導体ですが、 事前に水で電極（トランスミッターの両側、 ベルトの裏側にある 2 つの黒い部分）を濡らすこともできます。 運動を開始する前に、トランスミッターを着用してウォームアップすることをお薦めします。 人によって、 生体の化学反応が異なるため、 最初は、 安定した強い信号を発生させることが難しい場合もありますが、「ウォームアップ」の後は、良くなります。 また、トランスミッター / ストラップの上に衣服を着用することは、性能に影響を与えることはありません。
6. 運動している際、安定した強い信号を確保するために、ユーザーは常に受信範囲内（トランスミッターと受信機の間の距離）にいる必要があります。 受信範囲は多少異なりますが、 基本的にはコントロールパネルの近くにいて下さい。 運動する時は、トランスミッターを素肌に付けることを推奨しますが、 シャツの上に装着しても問題ありません。 その場合、 シャツの電極と接触する場所を湿らせて下さい。

注：トランスミッターは心拍を検出したら自動的に起動し、 また、 何も検出しない場合は動作を停止します。トランスミッターは耐水性ですが、 湿気が偽信号の原因になるので、 バッテリーの寿命（推定トランスミッターのバッテリー寿命は 2500 時間です）を延ばすために、 使用後はトランスミッターを完全に乾燥させて下さい。 チェストストラップに交換可能なバッテリーを使用する場合、 交換用電池はパナソニック CR2032 をご使用ください。

動作が不安定の場合

注意！安定した実際の心拍数が表示されていない場合、 バイクを使用しないで下さい。 数値が極端的に高かったり、 大きく変動したり、 またはランダムになったりする際は、 問題が発生していることを意味します。

下記の項目を点検して、 干渉が起きているかを確認して下さい

(1) 電子レンジ、 テレビ、 小型家電製品、 など
(2) 蛍光灯
(3) 一部の家庭用セキュリティシステム
(4) ペット用境界フェンス
(5) 人によってトランスミッターが信号を検出しない場合があります。 この場合、トランスミッターを逆さまに着用して下さい。 通常はトランスミッターのロゴの右側が上に向くように配置します。
(6) 心拍の信号を受信するアンテナが非常に敏感です。 外部のノイズ源がある場合、 マシンを 90 度回転することで、 干渉が解除される可能性があります。
(7) 問題を解決できない場合、 販売店までお問い合わせください。

心拍数コントロールプログラムの操作

心拍数プログラムを開始するには、 下記のステップまたは心拍数ボタンとエンターを押した後にメッセージウインドウに表示される指示に従って下さい。

1. 心拍数ボタンを押した後にエンターを押します。
2. メッセージウインドウに年齢を入れるように求められますので、 上下矢印ボタンもしくは数字のキーパッドで年齢を設定した後にエンターで数字を受付して、 次の画面に進みます。
3. 次は体重を入力します。 上下の矢印ボタンまたは数字のキーパッドを使って体重を入力し、 エンターを押して次に進みます。
4. 次は時間の設定です。 時間を調整してエンターを押して次に進みます。
5. 心拍数レベルを入力します。 プログラム中の心拍数のレベルを調整してエンターを押します。
6. これで設定が終了しスタートボタンを押してトレーニングを開始することができます。 また、エンターボタンを押すことで戻って設定を変更する事も可能です。 注：データを編集している時に、 ストップボタンを押して一つ前のレベルまたは画面に戻ることができます。
7. プログラム中に運動強度を増減したい場合、 上下矢印ボタンで調整することが可能です。 この機能によって、 プログラム中にいつでも目標心拍数を変更することができます。
8. 心拍数プログラム中に、 メッセージウインドウの隣にある表示ボタンを押すことでメッセージウインドウに表示されるデータをスクロールすることができます。
9. プログラムが終了したら、 スタートボタンで同じプログラムを繰り返したり、 ストップボタンで終了したり、 または User ボタンを押し、 メッセージウインドウの指示に従って終了したプログラムをカスタムプログラムとして保存することができます。

ワットプログラムの操作（医療目的で使用しないで下さい）

ワットプログラムは制御可能な継続負荷であり、 スピードが変更される時に調整可能なレベルとなります。 ワットプログラムを開始するには、 下記のステップまたはワットボタンとエンターを押した後にメッセージウインドウに表示される指示に従って下さい。

1. ワットボタンを押した後にエンターを押します。
2. メッセージウインドウに年齢を入れるように求められますので、 上下矢印ボタンもしくは数字のキーパッドで年齢を設定した後にエンターで数字を受付して、 次の画面に進みます。
3. 次は体重を入力します。 上下の矢印ボタンまたは数字のキーパッドを使って体重を入力し、 エンターを押して次に進みます。
4. 次は時間の設定です。 時間を調整してエンターを押して次に進みます。
5. 目標ワット数を入力します。 プログラム中の継続な負荷レベルを上下矢印ボタンで調整してエンターを押します。
6. これで設定が終了しスタートボタンを押してトレーニングを開始することができます。 また、エンターボタンを押すことで戻って設定を変更する事も可能です。 注：データを編集している時に、 ストップボタンを押して一つ前のレベルまたは画面に戻ることができます。
7. プログラム中に運動強度を増減したい場合、 上下矢印ボタンで調整することが可能です。 この機能によって、 プログラム中にいつでも目標ワット数を変更することができます。
8. ワットプログラム中に、 メッセージウインドウの隣にある表示ボタンを押すことでメッセージウインドウに表示されるデータをスクロールすることができます。

プログラムが終了したら、 スタートボタンで同じプログラムを繰り返すか、 ストップボタンで終了してメッセージウインドウの指示に従う事ができます。

メンテナンス

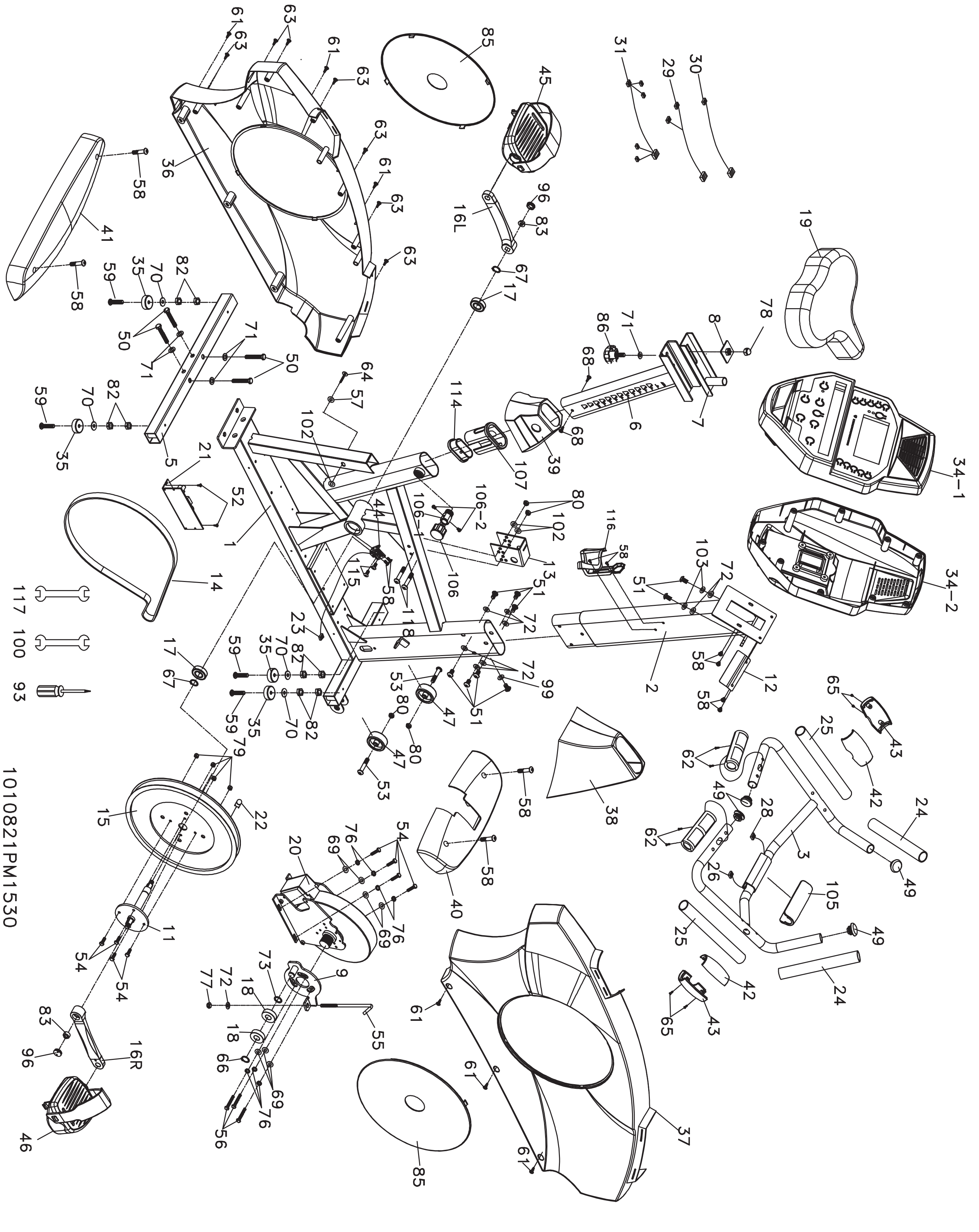
1. 使用後に、 汗のかかったエリア全体を湿らせた布で拭いて下さい。
2. きしみ音やドシン、 クリックなどの異音は下記の原因が考えられます。
    1） 組立する際に、 ハードウェアは十分に締めていませんでした。 組立時に取り付けられたすべてのボルトを再度締めて下さい。 付属の道具で十分に締めることが出来ない場合、 より大き目のレンチをご使用ください。 カスタマサービス部門への問い合わせで、 ノイズ問題に関する案件の 90% がハードウェアの緩みによるものです。
    2） クランクアームナットおよび / またはペダルを締め直す必要があります。
3. 異音が解消されない場合、 バイクが水平に設置されているかを確認して下さい。 リアスタビライザーの底に 2 つのレベラーが付いており、 14mm のレン（または調整レンチ）を使ってラベラーを調整して下さい。

コントロールパネルのメンテナンスメニュー

コントロールパネルに保守 / 診断ソフトウェアが内蔵されています。 このソフトウェアで、 コントロールパネルの設定をマイル表示からメートル表示に切り替えたり、 ボタンを押す時のビープ音をオフにしたりすること、ストップおよびエンターの 3 つのボタンを同時に 5 秒間押し続けて、 メッセージウインドウに「ALTXXXX Engineering mode」が表示されます。 エンターボタンを押して下記のメニューにアクセスします。

a. Key test：各ボタンが機能しているかを確認します。
b. Display test：表示機能をテストします。
c. Functions（機能）（エンター を押して下記の設定をアクセス）
    i. Sleep mode：20 分以上活動を検出しない場合、 スリープモードに入りコントロールパネルの電源をオフにします。
    ii. Pause Mode：オンの際にバイクを 5 分間一時停止し、 オフの際にコントロールパネルを無制限に停止します。
    iii. ODO reset：オドメーターをリセットします。
    iv. Units：表示単位をマイルまたはメートルに切り替えます。
    v. Beep：ボタンが押された際のビープ音をオン・オフにします。
    vi. D/A test：ブレーキの抵抗をテストします。
    vii. Exit
d. Security：不正使用を防ぐためにキーパッドをロックします。
e. Factory settings：メーカのみアクセス可能です。

分解図



パーツリスト

#	パーツ概要	数量
1	メインフレーム	1
2	コントロールパネル支柱	1
3	シートハンドルバー	1
5	リアスタビライザー	1
6	シートスライダー	1
7	シートスライドマウント	1
8	固定板	1
9	アイドラーホイールアセンブリ	1
11	クランク軸	1
12	固定板	1
13	t チェーンカバーブラケット	1
14	ドライブベルト	1
15	ドライブプーリー	1
16L	クランクアーム（左）	1
16R	クランクアーム（右）	1
17	ベアリング	2
18	6203 ベアリング	2
19	シート	1
20	インダクションブレーキ	1
21	発電機／ブレーキコントローラー	1
22	磁石	1
23	ホールセンサー	1
24	1″ × 250L × 5T ハンドグリップフォーム	2
25	1″ × 200L × 5T ハンドグリップフォーム	2
26	ハンドパルスセンサーアセンブリー（白）	1
28	ハンドパルスセンサーアセンブリー（赤）	1
29	2000 mm コンピューターケーブル	1
30	200 mm ワイヤーブレーキコイルハーネス	1
31	発電機ワイヤーハーネス	1
34	コントロールパネルアセンブリー	1
35	ゴム足	4
36	チェーンカバー（左）	1
37	チェーンカバー（右）	1
38	コントロールパネル支柱カバー	1
39	シート支柱カバー	1
40	フロントスタビライザーカバー	1
41	リアスタビライザーカバー	1
42	ハンドグリップサイドキャップ（上部）	2
43	ハンドグリップサイドキャップ（下部）	2
44	ホールセンサーラック	1
45	ペダル（左）	1
46	ペダル（右）	1
47	移動用キャスター	2
49	Ø25.4 × 2.0T ボタンヘッドプラグ	4
50	3/8″ × 2-1/4″ 六角ボルト	4

#	パーツ概要	数量
51	5/16″ × 5/8″ 六角ボルト	9
52	5 × 19 mm タッピンネジ	2
53	5/16″ × 1-3/4″ 六角穴付ボルト	2
54	1/4″ × 3/4″ 六角ボルト	8
55	M8 × 170 mmJボルト	1
56	M6 × 15 mm プラスネジ	3
57	3/16″ × 15 × 1.5T 平ワッシャー	1
58	M5 × 12 mm プラスネジ	12
59	3/8″ × 2 mm 平頭六角穴ボルト	4
61	5 × 16 mm タッピンネジ	6
62	Ø3 × 20 mm タッピンネジ	4
63	Ø3.5 × 16 mm タッピンネジ	7
64	Ø3.5 × 20 mm タッピンネジ	1
65	Ø3 × 10 mm タッピンネジ	4
66	Ø17 Cリング	1
67	Ø20 Cリング	2
68	4 × 12 mm タッピンネジ	2
69	1/4″ × 13 × 1T 平ワッシャー	7
70	3/8″ × 19 × 1.5T 平ワッシャー	4
71	3/8″ × 25 mm × 2.0T 平ワッシャー	5
72	5/16″ × 18 mm × 1.5T 平ワッシャー	9
73	Ø17 × 23.5 × 1T 平ワッシャー	1
76	Ø1/4″ スプリングワッシャー	7
77	M8 × 7T ナイロックナット	1
78	3/8″ × 7T 袋ナット	1
79	1/4″ × 8T ナイロックナット	4
80	5/16″ × 6T ナイロックナット	4
82	3/8″ × 7T ナット	8
83	M10 × 1.25 ナット	2
85	円盤	2
86	前後調整ノブ	1
93	プラスドライバー	1
96	クランクアームエンドキャップ	2
99	5/16″ × 19 × 1.5T 波型ワッシャー	1
100	12/14 mm レンチ	1
102	5/16″ × 16 × 1.0T 平ワッシャー	3
103	5/16″ スプリングワッシャー	2
105	前ハンドルバーカバー	1
106	シート上下調節ノブ	1
106~1	ノブナット 22m/m × M16 × M22 × 37m/m	1
106~2	プラスネジ M4 × 5L	2
107	シート支柱スライダースリーブ	1
114	シート支柱スライダースペーサー	1
115	Ø3 × 12 mm タッピンネジ	2
116	ドリンクボトルホルダー	1
117	13/15 mm レンチ	1
118	5/16″ × 2-1/4″ 六角ネジ	2

保証とアフターサービス
必ずお読みください

（1）保証書（次項）

保証書は所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。

（2）保証期間中に修理を依頼される場合

保証書の記載内容に従って修理いたします。（ただし、縫製部品は除きます。）

（3）保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

（4）補修用部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用部品を製造打ち切り後最低３年間保有しております。

＊ただし、需要具合によってはこの限りで無い場合もありますので、ご了承ください。

（5）ご使用中に普段と変わった状態になりましたら、直ちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。

＊お客様ご自身での分解・修理は危険です。絶対におやめください。

（6）修理・アフターサービスについてのご相談

修理に関するご相談ならびに、ご不明な点は、まずお買い上げ販売店にお申し付けください。

●ご転居されたり、ご贈答品などでお買い上げ販売店に修理などのご相談ができないときは、下記のダイヤコジャパン「お客様相談窓口」にお問合せください。

ダイヤコジャパン【お客様相談窓口】

０１２０－５５９－１６８

【受付時間】祝日を除く月～金１０：００～１７：００（都合によりお休みさせていただく場合がございます）

株式会社ダイヤコジャパン

TEL：０３－６８０８－４５８８　　FAX：０３－６８０８－４６７７

〒１３４－００８８　東京都江戸川区西葛西６－１６－７　第２白子ビル　５０１

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お客様よりお知らせいただいた氏名・住所などの個人情報は、当社製品のご相談への対応や修理及びその確認などに利用し、その記録を残すことがあります。

なお、お客様の個人情報は弊社で適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供いたしません。

保　証　書

SPIRIT アップライトバイクＣＵ８００

お買い上げ日	保証期間
年　　月　　日	お買上げ日より１年間

お　客　様
ふりがな
お名前　　　　　　　　　　　　　　　　　様
ご住所 TEL:　　　　　　（　　　　　　）

販　売　店

この保証書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するもので。
本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
通信販売等で購入された場合は、商品の送り状に記載された荷着日をお買い上げ日とさせていただきます。
販売店欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずお買い上げ販売店にお申し出いただき、記入を受けてください。
（販売店からの記入が無い場合は商品と同封されている納品書がその代わりになりますので、無くさない様に本保証書と一緒に大切に保管してください）

1. 取扱説明書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
2. 本書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.
3. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
    - （ア）使用上の誤り及び不当な修理や改造による損傷。
    - （イ）お買い上げ後の輸送、落下等による損傷。
    - （ウ）火災、浸水、不慮の事故、その他天災による損傷。
    - （エ）指定された使用条件以外で使用された場合の故障または損傷。
    - （オ）指定外電源（電圧、周波数）使用による損傷。